

# 学習評価 FIRST STEP —中学校理科—

## 1 学習評価は何のため？

学習評価の目的は、生徒の資質・能力を育成することです。生徒の学習状況を適切に見取り、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。



## 2 学習評価の考え方

### (1) 評価の観点

育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえ、以下の3つの観点で評価を行います。

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

### (2) 「学習活動における具体的評価規準」作成のポイント

単元の評価規準を作成する際は、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（以下、『参考資料』）の巻末資料（p.105～）に記されている、「中項目ごとの評価規準（例）」を基に、指導する生徒の実態や前単元までの学習状況を踏まえ、「学習活動における具体的評価規準」を作成します。ここでは第2学年2分野における「生物の体のつくりと働き」の例を紹介します。

### 【具体例】 「動物の体のつくりと働き」について学ぶ単元

#### 中項目ごとの評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

参考資料の巻末資料にある「中項目ごとの評価規準（例）」を参考にしましょう。

#### 学習活動における具体的評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行っている。 ○観察、実験から得られた結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。	○動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

指導する生徒の実態や前単元までの学習状況を踏まえて作成しましょう。

「学習活動における具体的評価規準」は、生徒の実態や前単元までの学習状況によって変わってきます。評価の場面に即して幾つかに分けて示す場合もあります。



## 3 学習評価の機能

### ○【指導に生かす評価】

生徒一人一人の学習状況を把握し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のことです。生徒の学習改善や教師の指導改善のために、日々の授業の中で生徒の学習状況を絶えず評価することが大切です。指導の必要性や妥当性を見直したり、事前に立てた単元計画を修正したりすることで、指導改善を行いましょう。

### ○【記録に残す評価】

観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のことです。毎回の授業において、記録に残す評価を行う必要はありません。指導と評価の計画を立てる段階から、タイミングや方法等を意図的・計画的に考えておくことが重要です。

## 4 単元における学習評価

時	ねらい・学習活動	重点	記録	評価方法
1	単元の目標を確認する。 食物は、消化される過程で変化することを理解する。	知		
2	だ液によってデンプンが分解されることを観察、実験によって見いだすための検証方法を立案する。	思	○	【記述分析】
3	だ液によってデンプンが分解されることを観察、実験によって見いだす。	思	○	【記述分析】
4	いろいろな消化酵素の働きにより、それぞれの成分が吸収されやすい物質に分解され、吸収されることを理解する。	知		
5	肺による呼吸運動を、横隔膜やろっ骨を動かす筋肉の働きと関連付けて理解する。	知	○	【記述分析】
13	ヒトと他の脊椎動物や植物との体のつくりを比較し、共通点と相違点について考える。	態	○	【行動分析】 【記述分析】
14	単元を振り返り、脊椎動物と無脊椎動物の体を比較し、学習内容と関連付けて考えたり、見いだした問題を整理したりする。	態	○	【記述分析】
	ペーパーテスト (単元終末や定期考査等)	知思	○	【ペーパーテスト】

「重点」では、その単元のまとまりの中で、どの時間にどの観点を見取るのかを明確にしましょう。

「記録」に○が付いているところでは【記録に残す評価】を行います。○が付いていないところでは、評価を行わないのではなく、生徒の学習状況を把握し、生徒の学習改善、教師自身の指導改善を行う【指導に生かす評価】を行いましょう。

「評価方法」は記述分析、ペーパーテスト、パフォーマンステスト、行動観察、振り返りの記述内容などがあります。活動に適した評価方法を設定しましょう。

#### 学習評価のポイント

- ・評価する時期や場面を精選し、適切に評価する。
- ・評価方法の工夫をする。
- ・生徒を見取るポイントを明確にする。
- ・複数の単元や題材にわたって長期的な視点で評価することもある。 など



学習評価の詳細については、佐賀県教育センターHP「[学習評価の進め方](#)」を御参照ください。

